

第3次ボランティア派遣報告 (10月7日～9日)

福島県南相馬市：寺内第一仮設住宅・友伸仮設住宅での活動

【10月7日(金)】午前9時区役所を出発、6月の第一次とは異なり快適な天候状況であった。東北道に入り北上、サービスエリアで数回休憩、前回と比べ観光客が多く観光バスも見受けられるようになってきた。

福島に入り高速道路を降りるまでの間、ブルーシートの屋根がほとんど見えなくなっており道路の段差もほとんど感じなくなっていた。

今回は二本松インターで降り、警戒区域に指定された飯館村を経由し南相馬市に入った。途中の状況は田畑は草が伸び放題、しかし所々に草を刈った畑もあり全くの無人の村ではなく、人の住む気配のある家も見受けられた。またガソリンスタンドも営業しており、交通量も想像していたより多かった。



飯館村の入り口 (石碑)



人気のない村の中

午後3時過ぎにボランティアセンターに到着、明日以降活動する仮設住宅の状況を聞き必要な手続きをすまし、前回も行った寺内第一仮設住宅へ、翌日のために会場設営をおこなう。今回は集会室の一部に他のNPOの備品が置かれており思ったより狭く、一部のコーナーを外で行うことを決め設営終了。

その後、翌日の活動(縁日)の宣伝チラシを各戸に配布・参加の呼びかけを行って、宿泊施設である相馬市松川浦「栄荘」へ、途中一階部分が破損して休館していた旅館が修繕を終えて再開していた。

【10月8日(土)】早朝起床、散歩に出て港を回る。瓦礫は撤去され沢山の漁船が係留されており、河口付近の瓦礫の山もほぼ片付けられ、一見復旧は進んでいるように思えるが岸壁は修理もされず段差も大きくて建物も手付かずの状態であった。



漁港付近

午前8時過ぎに寺内第一仮設住宅へ出発、到着後集会室入り口付近に喫茶コーナー・受付・くじ引きコーナー・ゲームコーナー、室内ではお茶席・折り紙教室等のコーナーを設置。

予定より早く集まった住民のため、開催時間を早めて開場。

各コーナーはいずれも盛況、お茶会には50名、折り紙・歯科衛生士による子ども向け・大人向けのプロンを利用した歯科予防講座(エプロンシアター)・紙芝居コーナーも参加者が切れなかった。一方、外では喫茶コーナーが好評で用意したコーヒー・番茶・ジュースとお菓子が足りなくなりそう担当者はひやひや。途中からカラオケ教室になり最後まで楽しみました。



また、くじ引き・ゲームコーナーも大人や子どもが集まり60本用意した景品がすべてなくなりました。



歯科予防講座



会も終わり参加者を見送っているところ

今回は周りの雇用促進住宅からの人も集まり（約 80 人参加）大変にぎわいました。

その後会場を片付け、午後から翌日の予定の友伸仮設住宅（120 世帯の大規模住宅）に行き、外構工事をやっている中チラシを配布。ここは入居まじかのため、住民同士の関係がこれからの様子。

仮設住宅を出、付近の状況を見ながら宿泊場所に帰り夕食。その後大田区職員の方の友人の漁民 4 人と、津波のときのことやその後のことを聞く「船を出しかろうじて脱出し一晩海上で過ごし帰ってきたら家は無くなっていた」「船は出さなかったが被害が少なく修理することが出来た」などなど、貴重な話をいただいた。今は毎日（月～金）瓦礫の撤去のため船を出しているとの話であった。

【10月9日（日）】友伸仮設住宅へ行き、自治会長より集会室の鍵を開けていただき設営準備を始める。この日は時間になっても住民はちらりほらり、再度各戸に呼び込みを行う。呼び込み功をそうしたか、住民の方が集まっていたいただき、50 名近くとなる。各コーナーゆったりとした対応が出来て、住民と話し込む者も何人かいた（昔大田区に住んでいて懐かしいといいながら参加した住民もいた）。



紙芝居をやっているところ



お茶席

縁日の終了まじかに集会場の隣に住むおばあさんが自分の家から採ってきた柿だが、気にならなければ食べてほしいと手提げ袋一杯持ってきてくれ、ありがたく頂戴してきました。その後ボランティアセンターに活動報告をして、帰路に入りました。

☆私達ボランティアの会は、職員で構成されており自分達で出来ることを検討しながら、長期に渡って支援していこうと考えて活動しています。先日は蒲田駅前で震災孤児等を支援するために「あしなが育英会の駅前募金活動」に参加してきました。

☆また 11 月 17 日にはミニ生協祭り（都区生協）の販売と同じ日に東北の野菜販売等を組合事務所を借りて実施します。（余剰金はあしなが募金に募金します）

☆12 月には 8 日～10 日の予定で再度南相馬市にボランティア活動をする予定です。

（ただいま詳細は現地ボランティアセンターと調整中）

☆活動に興味ある方・入会を希望する方は連絡をお願いします。（月・水には会員が組合事務所をお借りして常駐しています。会費は無料、会則なし、会に入ると私達が手に入れた様々な情報をお送ります。）

◎連絡先 大田区職員労働組合気付（ご協力いただいでいて連絡先となっています）

大田区職員東日本大震災ボランティアの会（略称 グループ・ボラボラ）